

令和5年度 社会教育委員の第1回会議で報告

地域の魅力再発見で幸せを

—橋立地区会館の取り組み—

自然と歴史に寄り添うまち

加賀市立はしたて地区会館

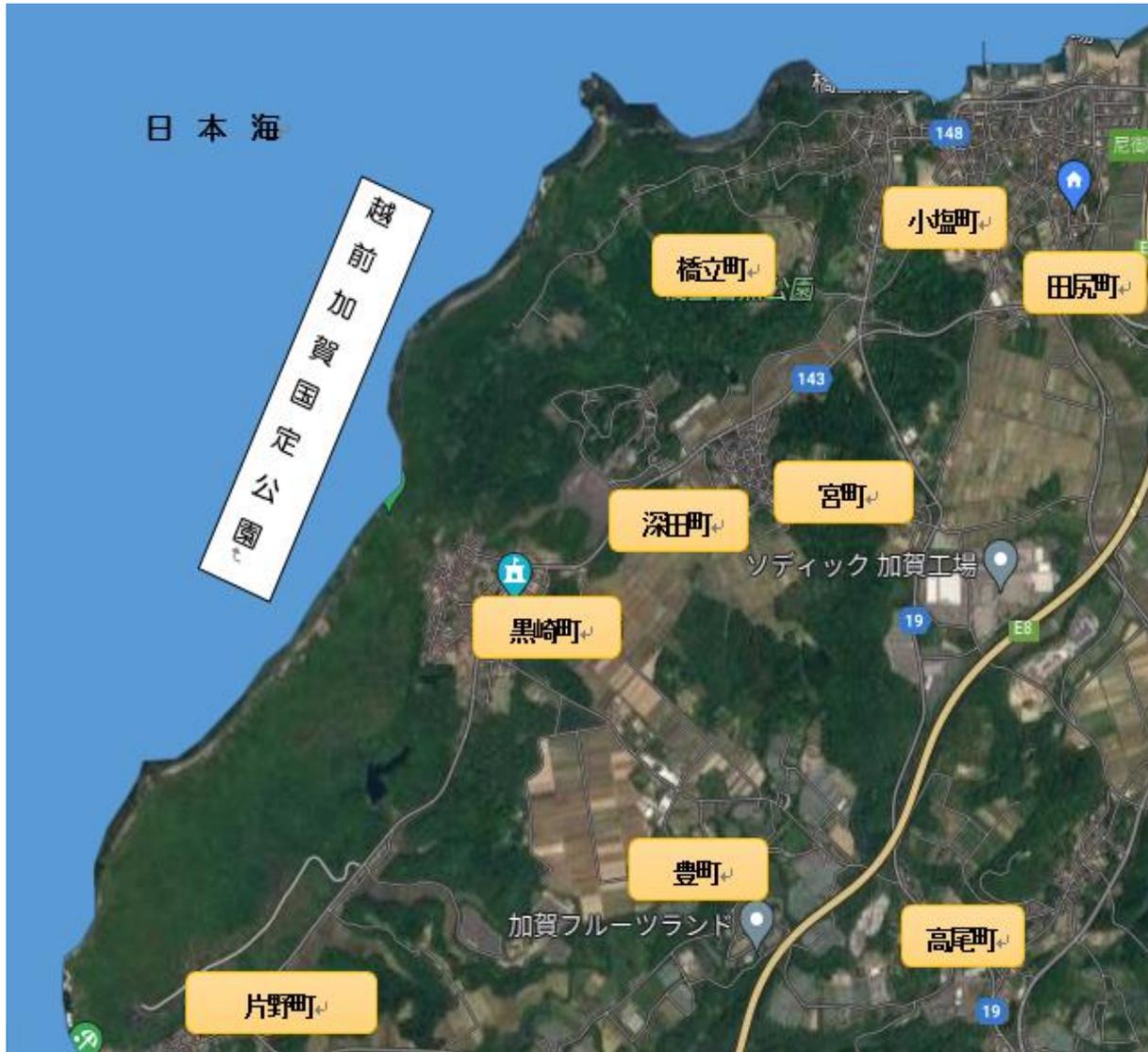


地域概略

橋立地区は、海岸沿いの橋立、小塩田尻、黒崎、片野内陸の深田、宮、豊高尾の9町で構成。

世帯数約1100戸
人口2600人余り。

北前船の船主集落としての歴史があり、重要歴史建造物伝統地区に指定。風光明媚な海岸線、橋立港の海産物や米、野菜、フルーツの農産物など豊かな地域である。



コロナ禍の公民館

活動の制限

- 集まり・会話・飲食ができない
- 人と人との交流ができない

地域の場や
一体感の喪失

住民同士の関
係性が希薄に

しかし コロナ禍を経験すること
によって



公民館活動の原点を見直す機会に

- ①人と人が直接会って、楽しむ活動の大事さを確認
- ②住民のニーズを活かす必要性
- ③地域の良さの再発見、自らがふるさとを創る一人に

フォトコンテストの開催



はしたて地区 わが町再発見!



フォトコンテスト 2022

橋立地区の宝となる

「海や森、豊かな自然、生き物、植物、歴史ある街並み、人、食、祭り、日常のスナップなどをテーマにした写真」を募集します。

応募期間：2022年8月1日～9月30日

撮影対象：橋立地区内で撮影されたもの
地区住民に関わるもの

応募方法

作品展示会と写真展

10月21日(金)～24日(月)

橋立地区会館1階&ホール



タイトル 灯台と春の海



タイトル

宝石いっぱい黒崎海岸



タイトル

冬の海 片野海岸



タイトル

蛍飛ぶ町「橋立」



タイトル

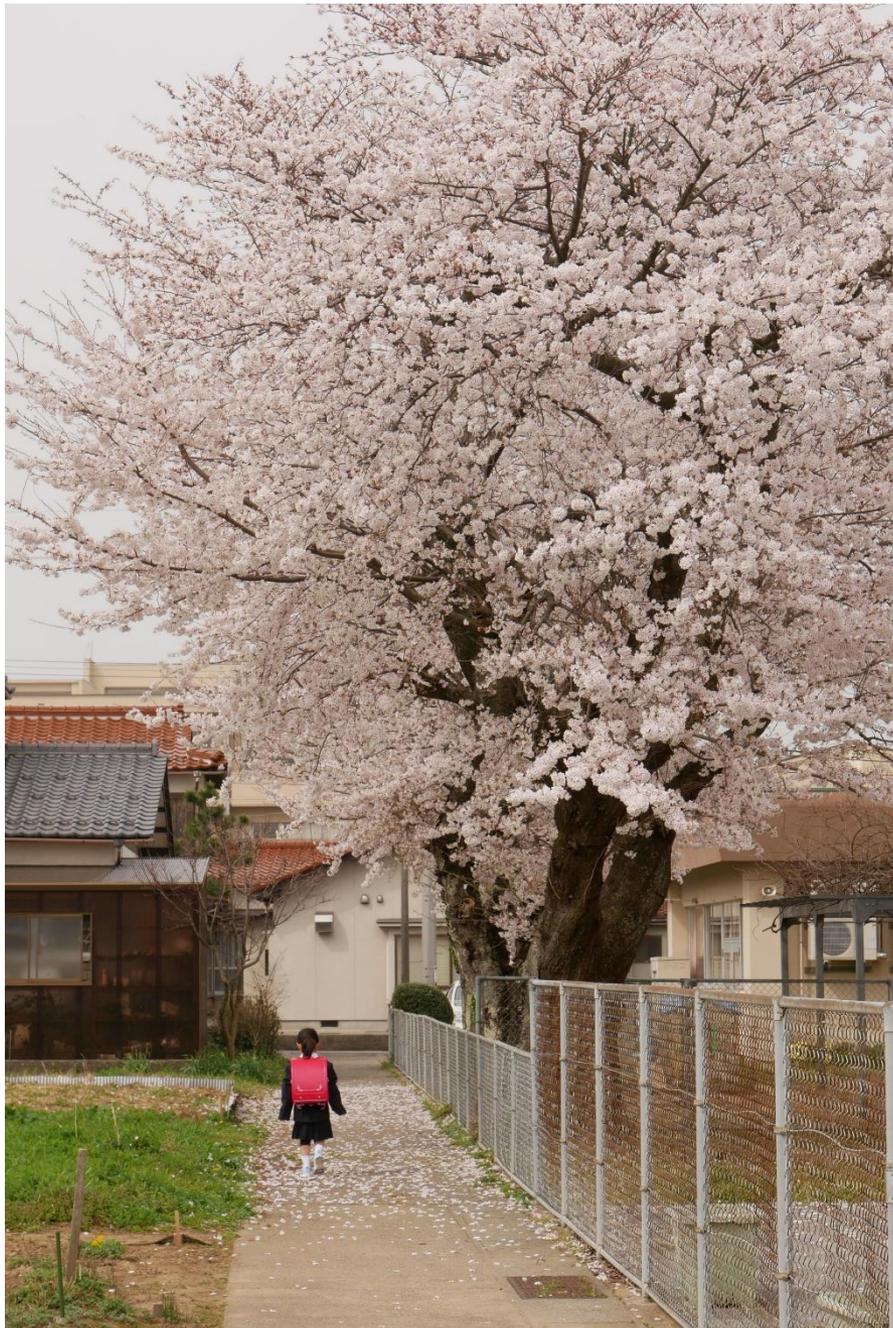
夏夜の

鴨池にて



タイトル

秋のめぐみ



タイトル

新1年生



タイトル

**自分の仕
掛けで
釣れた鯛**



タイトル 海からドボーンいい湯だな



タイトル 大カイマグロ！競り落としたぞ



タイトル

なんじゃ

こりゃ!



タイトル

**ヤクルト
BOXの上に
金色の虫**



タイトル 田尻中学生青春の一枚



タイトル 初めてのお祭り

フォトコンテスト作品展

- まちづくり各種
団体から協賛金
- 参加者の投票
で入賞を決定
- 1人3点を選び
ポイントを集計
- 入賞者には、
**地域応援商品
券**を贈呈



地域応援商品券

コロナ禍で消費が落ち込んだ橋立地区の商店
約30店に協力してもらい地域商品券を作成



ハレルヤ(洋菓子) 平井ストア(食品雑貨) マルヤ水産(海産物) 喜多理客店
やしま(和食ランチ) やまは水産(海産物) 北前(大判焼き) てるみ美容院 昌美容室
オイエ(化粧品) 小坂クリーニング 司(和食)
アヤ美容室 ヒロイン美容室 田中理容店
加佐ノ崎倶楽部(喫茶・ランチ) 日菓(焼き菓子) 波生(和食ランチ) 舟重(和食ランチ)
大倉理容店 カレット(ガラス工房)
うみぼうず(コーヒー専門店) 豊町果樹生産組合※各店にお問い合わせください
木楽屋(発酵食ランチ)
大黒屋(お好み焼き)
フルーツランド

※額面金額より少額でもおつりは出ませんのでご了承ください

地域の魅力再発見 成果①

橋立小学校1年生親子行事で地域発見フォークラリー



親子で撮った写真をフォトコンテストに応募



橋立地区地域応援商品券をゲット



- 生活科で地域応援商品券のお店調べ
- 転校していく児童のためにお別れ会を開く。そのおやつを地域商品券で買い物



なぜ橋立3町の獅子頭は、白いのか？



宮町



橋立町



高尾町



黒崎町



小塩町



深田町



田尻町



片野町

感染症と白い獅子頭

- ・ 明治12年感染症コレラは、全国で猛威を奮い、石川県でも約2万人の死者。
- ・ 橋立のお寺の襖の裏紙から当時の江沼郡の被害状況が明らかに。
(見附裕史さんの講演)
- ・ 河北郡内灘の漁師たちは、感染症をさけるため、比較的
安全だった橋立に移住。
- ・ その子孫の漁師たちが、ふるさとの白い獅子頭と獅子舞を伝えた。



白い獅子頭のルーツを調べて



橋立地区住民の先祖の
人たちの中には、感染症
を乗り越え、漁業の礎を
築いた人たちがいる。

内灘
大根布町第一町内会の
白い獅子頭
(現在使っているもの)



新企画「フェスタ橋立（仮称）」

男女共同参画推進モデル地区事業

女性視点「しゃべり場」の開催 地域の魅力を共有

地域の魅力（人・モノ・こと）を企画に活かす

<今後の企画>

- ・ 多様な年代の参加者を意識して
- ・ 新しいアイデアを実行に
- ・ SNSを使って発信

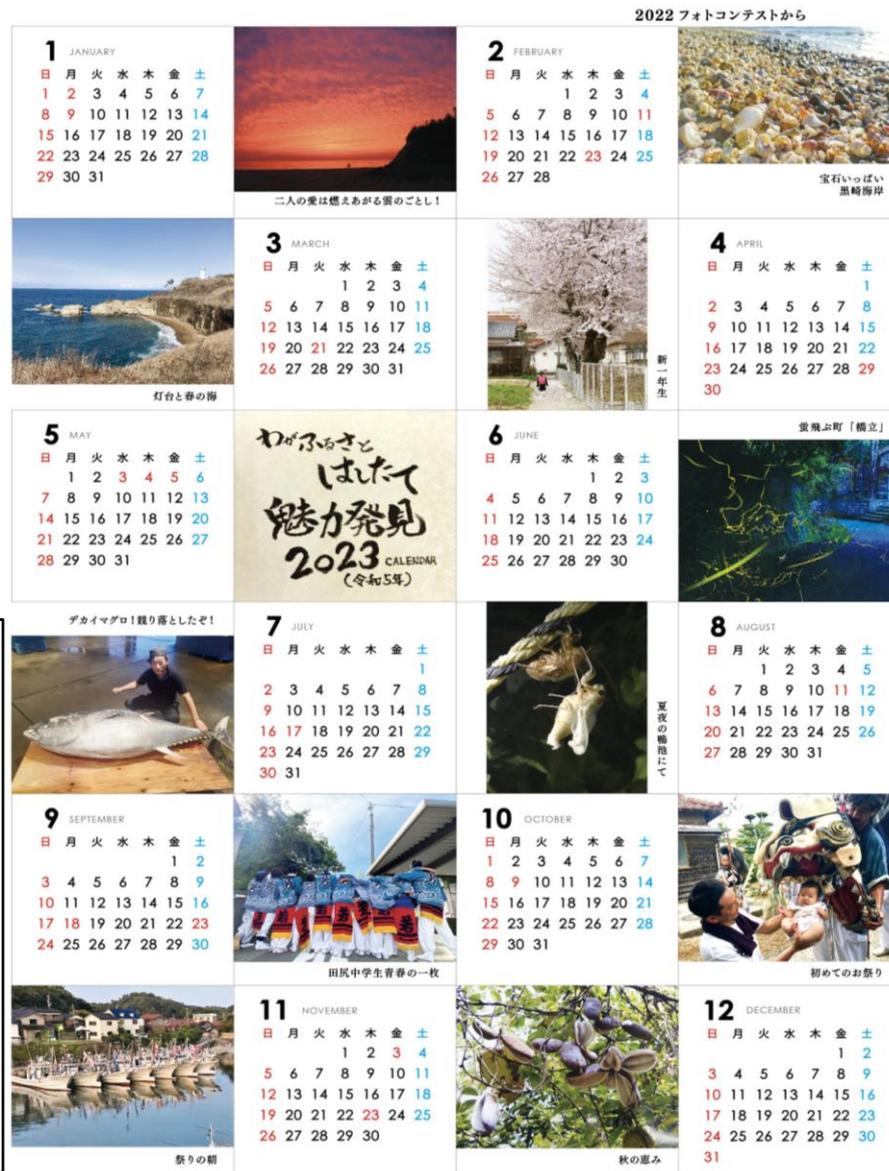


地域再発見

つながり作り③

フォトコンテスト
入賞者の作品をカ
レンダーに

- 橋立地区全家庭に1枚
ずつ配布。
- 郵便局、交番、地域商
店などに掲示してもら
った。



まとめ

- ☆フォトコンテストの取り組みは、住民にとって地域の良さや豊かさを感じ、ふるさとを共有する取り組みになった。
- ☆行事や活動は、つながりを意識した連続性、持続性を考えることが大切。
- ☆知る喜び、人と連帯する楽しさなど参加する住民が「学び」を実感する活動を重点に取り組んでいきたい。

人と地域のウェルビーイングの実現を目指して



橋立地区公民館長
吉野 裕之

「僕たちのパーティー」2023フォトコンテスト 最優秀賞

4年振りの「はしたてフェスタ」 の取り組みの中で

①4年前 うどん・ラーメンコーナーは、町の婦人会に
割り当て



②しゃべり場の企画会の中で「キッチンカー」を呼びたい



③準備会話し合いの中で、「キッチンカー」より地元商店の弁

当や総菜を

④手作り弁当・昆布巻き・魚・発酵食品・手作り菓子・炊き込み

ごはん・豚汁・焼き鳥・フランクフルト・農産物などの
の 出店

はしたてフェスタ 当日の様子



橋立小学校：北前太鼓



発表を見る参加者



手作り
総菜



焼き
鳥
フ
ラ
ン
ク
フ
ル
ト



手作り
菓子
販売



発
酵
食
品
手
作
り
弁
当



支援
学校
手作り
作品
販売



小学
校作
品展
示



占い
コー
ナー



ア
ー
ト
バ
ル
ー
ン
ブ
ー
ス



住民
のマジック

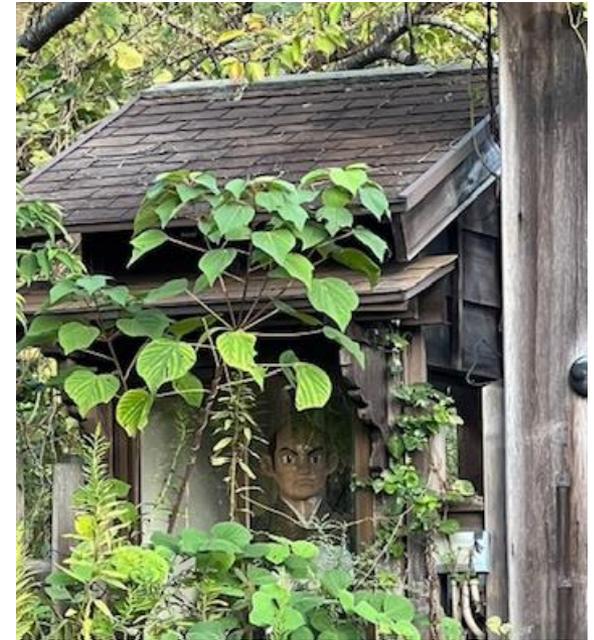


4年振りに復活した地域の
伝統技能「黒崎土練り節」



ギター
サークル
発表

地域の魅力・豊かさ再発見 今年もフォトコンテスト開催







フェスタはしたて 振り返り

- ①住民の企画で様々な地元らしい模擬店を出店できたこと。
来場者以上に楽しさ、満足感を感じ、来年度も参加したいという意欲が生まれた。
- ②フォトコンテストは、地域の魅力を再発見する場となり、
地域を誇りに思える一体感を作る機会になった。
- ③子ども、高齢者、女性の参加が活力をもたらし、地域全体の
つながりを生み出す絆になった。

【地域の宝】

【ヒト】

- ・土練り節を守る人
- ・地域の歌を発信する人
- ・マジックを続ける人
- ・橋立小学校北前太鼓

×

【モノ】

- ・北前船の里資料館
- ・地元商店
- ・漁港
- ・魚 野菜 フルーツ
- ・獅子舞文化

×

【コト】

- ・少子高齢化
- ・コロナ禍からの復活
- ・世代交流
- ・地域の宝発見 フォトコンテスト

=

(吉野館長)

【新しいアイデア】

フリーマーケット

展示作品の販売

占い

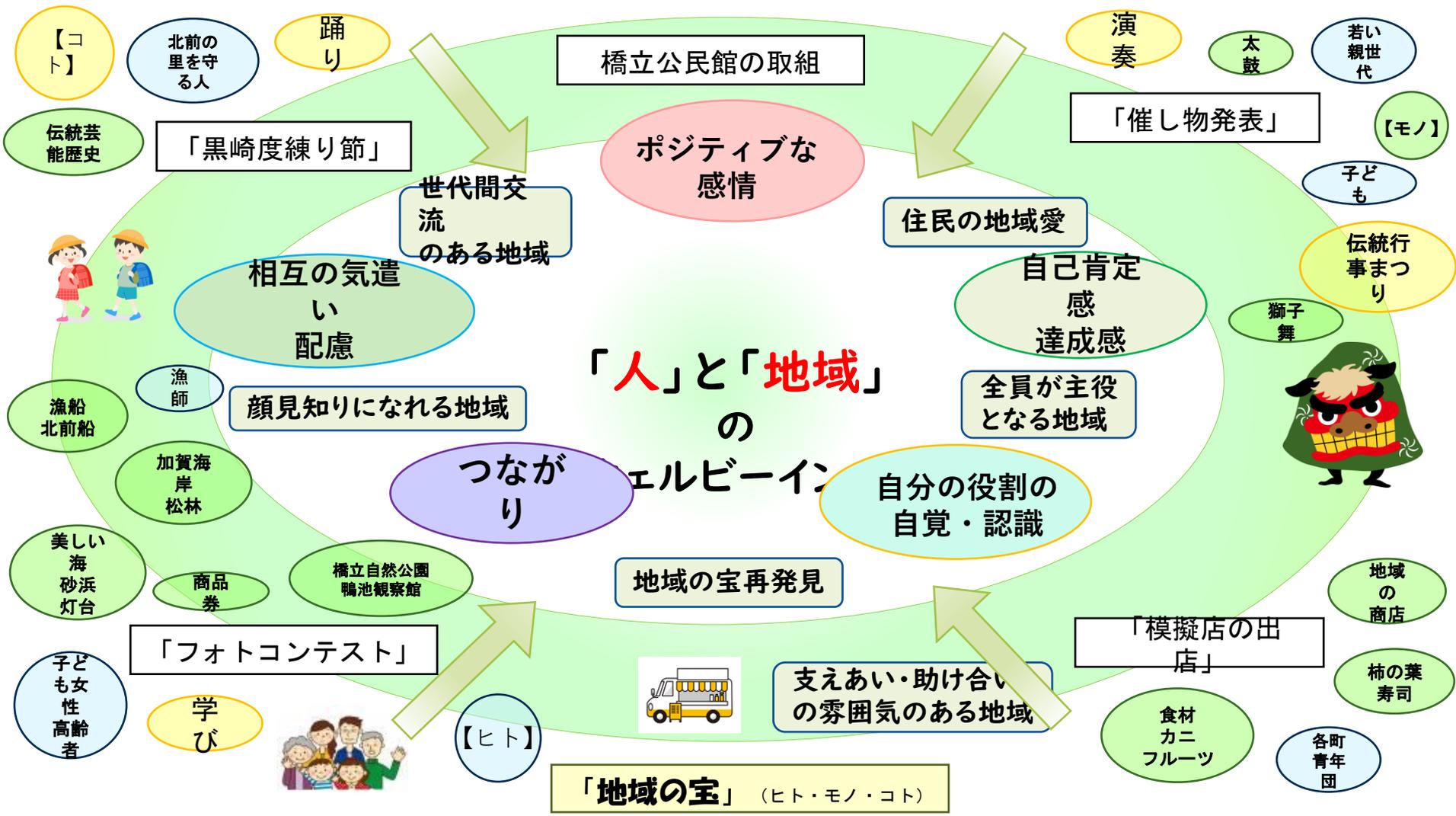
「人」のウェルビーイング（喜び、生きがい、感謝、自信等）

- ・地域の魅力再発見
- ・地域行事の主体的参加と満足感
- ・また参加したいと思う意欲化
- ・地域に種を巻く人の育成

吉野館長の理想の地域

自分たちの街や文化に誇りをもち、一人ひとりが生き生きと活動できる地域







企画名 地域の魅力再発見で幸せを 【新規(継続) (2年目)】
自分たちの街や文化に誇りをもち、一人ひとりが生き生きと活動できる地域をめざして

気づき・目的 コロナ禍の経験を、公民館活動の原点を見直す機会として活かす

- ・人と人が直接会って、楽しむ活動の大事さを認識
- ・住民のニーズを活かす必要性
- ・地域のよさを再発見し、自らがふるさとを創る一人になる

活かせる地域の資源 (ヒト・モノ・コト)

ヒト (住民・団体など)

- ・海の恵に感謝し、自然を大切にす住民
- ・北前の里の伝統を守る住民
- ・地元の青年団
- ・幼馴染の小中学生

モノ (施設・特産物・文化財など)

- ・海岸、松林、自然公園
- ・北前船資料館・海水浴場
- ・囃池観察館
- ・豊富な海産物、フルーツ
- ・柿の葉寿司等の伝統料理

コト (歴史・文化・行事など)

- ・獅子舞や祭り等の伝統文化
- ・内灘から住民が移り住んだ歴史

	具体的な内容	対象者	スキルアップ	交流	地域の賑わい
取組	・フォトコンテスト2022年の開催。「わが町再発見」をテーマに地域の宝をさがして写真におさめる。コンテストの副賞として地域応援商品券を作成したことが、様々な形で地域住民の交流を生む。また、コンテスト入賞作品はカレンダーにして全戸に配布。地域に新たな話題を生む。	小学生 地域住民 商店		○	○
	・令和4年度に橋立地区会館にて、女性による「地域づくり」学び講座 in 橋立(しゃべり場)を2回開催。県生涯学習課と連携し、まちづくりに女性の意見をより一層取り入れ、新しい地域づくりを目指す。地域分析シートを活用。	地域住民 (特に女性) 行政	○	○	
	・はしたてフェスタの取組(当日及び当日までの様子)運営者含め約500名の住民が参加。キッチンカーから地元食材を活かした出店や模擬店、農産物の販売を実施した。その他団体発表、抽選会を実施。しゃべり場で企画した内容の実現。準備会を5回開催し、フリーマーケット希望者説明会を開催した。その他各町区長及び団体の協力を依頼。	地域住民		○	○

実施過程	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目							フォトコンテスト2022開催		第1回「しゃべり場」開催 地域の宝を再発見			第2回「しゃべり場」開催 まちづくり行事の企画
2年目					社会教育委員の会議で報告		はしたてフェスタの開催 フォトコンテスト2023	振り返りの会を実施				

成果指標	項目	評価	【次年度へ向けての改善点】
	(定量評価) … 数値で表せるもの フェスタの参加者数 フォトコンテスト参加者数 住民の声など	◎	地元企業の協賛 漁協との連携 学校との更なる連携及びコミュニティースクールにおける活動の精選と分担
	(定性評価) … 数値で表しにくいもの 出店した人の満足感 地域文化の誇りと一体感 世代間交流	○	